



ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパン

Annual Report

年間報告書2022

つながり、広がる、支援の輪。

2022年は、「にいがたハウス」のオープンや
「ハートフルカート」の本格稼働開始など、
コロナ禍にありながらも嬉しいニュースの多い1年でした。
皆さまの温かい気持ちがつながり、大きく広がった支援の輪。
その1つ1つを、ご家族の笑顔とともにご報告いたします。



ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパン

INDEX

目次

ご挨拶	p.3-4
2022年ハイライト	p.5-6
2022年活動報告	p.7-8
DMHC STORY	p.9-10
ハウスの1日	p.11-14
2022年の活動トピックス	p.15-20
マクドナルドのサポート	p.21-22
サポーター紹介	p.23-27
決算報告	p.28-30
財団概要・ミッション	p.31-32
ファミリー・センタード・ケア	p.33
役員・評議員名簿	p.34
全国12ハウスの紹介	p.35-38

※掲載写真のうちマスクを着用していないものは、撮影時のみマスクを外しております
※所属先・役職等は、当該ページに注記がない限り2022年時点のものです
※本誌における当財団名の略称表記
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン：DMHC



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 理事長
国立成育医療研究センター 理事長

五十嵐 隆

平素はドナルド・マクドナルド・ハウス（以下ハウス）に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年10月に当財団は国内で12カ所目、日本海側では初めてのハウスとなる「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」（以下「にいがたハウス」）を新潟大学医歯学総合病院の敷地内にオープンしました。「にいがたハウス」は新潟大学と私ども財団との共同での開設となります。開設に際して、新潟県、新潟市からも全面的なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

新潟県内唯一の特定機能病院として高度先進医療を担う新潟大学医歯学総合病院には、県内外から多くの小児患者とご家族が訪れます。「にいがたハウス」の開設によって、より遠方からの患児の受け入れが可能となり、さらに広域におよぶ小児医療への貢献が期待されています。

2023年4月には「こども家庭庁」が創設されました。「次世代の社会を担う子どもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現」を目指す同庁のさまざまな施策に、大きな期待が寄せられています。「成育基本法」や「こども基本法」は子どもを尊重し、基本的人権を保障するなどの基本理念を基に最近数年間に制定されました。これらの法律を根拠法として、「こども家庭庁」が中心となって、これまで十分ではなかった子ども施策や子育てに関する施策を今後推進してゆくことが期待されます。

現在、医療的ケアを必要とする子どもや青年が世界的に増えています。慢性的に身体・発達・行動・精神状態に障害を持ち何らかの医療や支援が必要な子どもや青年（Children and Youth with Special Health Care Needs：CYSHCN）はこの20年間に先進諸国では約50%増加しています。わが国では最近までCYSHCNに関するデータがありませんでしたが、2021年に東京大学による初めての調査で平均年齢9.7歳の子どもの12.5%がそれに相当することが明らかになりました。

さらに、生存のために高度の医療技術を日常的に必要とする「医療的ケア児（Children with Medical Complexity：CMC）」も年々増加し、2021年には、約2万人（0-19歳）に及ぶこと、人工呼吸器管理の必要な子どもが5千人を超えていることが、厚生労働省調査研究班の調査により明らかにされています。2021年に成立した「医療的ケア児およびその家族に対する支援に関する法律」がCMCの子どもとご家族の支援につながることを願っています。

病気や障害を持つ子どもに加えて、健康な子どもも地域全体で支援して、身体・心理・社会面のいずれにおいても子どもの健康を向上させる「地域小児科」の活動が先進諸国で進んでいます。病気や障害を持つ子どもや青年とご家族へのさらなるケア・支援は地域や社会全体で行うことが必要です。私ども財団は全国のハウスを運営し、ハウスと連携する医療機関を通じてさまざまな取り組みを行い、連携する医療機関をはじめ国や地域行政、関係諸団体や支援くださる皆さまとともに、患児とご家族へのケア・サポートをさらに強化してゆく所存です。

今後とも皆さまの一層のご支援、ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



東大阪市長

野田 義和

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンと東大阪市は、2021年2月9日にパートナーシップ協定を締結させていただきました。貴財団にとって初となる自治体との協定締結が本市であることを、大変光栄に存じます。

昨年2022年11月5、6日に開催し、約7万人の来場のあった大阪・関西万博に向けた機運醸成イベント『HANAZONO EXPO』などの本市主催イベントにも積極的に出展いただき、本市の公民連携の推進に貢献いただいているところであります。また、本市主催以外の市内でのイベントにおいても、広報啓発や募金活動を行うほか、本市をホストエリアにする花園近鉄ライナーズや本市包括連携協定企業との連携をされるなど積極的に活動されており、広く支援の輪が広がってきていると感じております。

さて、本市はラグビーの聖地である東大阪市花園ラグビー場、国内初の屋外型車いすスポーツ専用施設であるウィルチェアスポーツコートなどのスポーツ施設や、優れた音響空間をもつホールと文化・芸術など創造活動を行うことのできる諸室を兼ね備えた文化創造館など、身近にスポーツ、文化・芸術を感じることができまします。また、世界に誇る技術を持つ中小企業が多く存在する「モノづくりのまち」でもあります。現在、大阪大学と連携し、健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向け、市内モノづくり企業による機器開発などの事業化を図り、健康・医療分野への参入促進の取り組みを推進しているところであります。

これらスポーツ、文化・芸術やモノづくりなどの本市の地域資源を最大限に活かし、まちづくりに繋げる取り組みや、医療・福祉で市民の健康的な生活を実現する取り組みを共に推進することにより、東大阪市の活性化に繋がることを期待しております。

貴財団の取り組みを多くの市民、市内企業に知っていただきたいことから、本市では昨年11月に花園ラグビー場正面ファサードを貴財団のテーマカラーの青色で“国内初”のライトアップによる啓発をいたしました。自分たちのまちにも困難な病気を持つ子どもとご家族がいること、そしてその子どもとご家族をボランティアの方々をはじめとした社会で支える素晴らしい取り組みがあることを知ってもらい、ボランティア活動や地域活動、健康・医療への支援において自分たちにもできることがあるかもしれないと興味・関心を持っていただきたいと考えております。

結びに、貴財団が益々のご発展を遂げられますとともに、五十嵐理事長をはじめ公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンにかかわる皆さまのご健勝ご多幸を祈念いたしましてご挨拶といたします。

2022年10月1日(土)、新潟大学医歯学総合病院の敷地内に「にいがたハウス」がオープン!

国内12か所目、そして日本海側で初のハウスである「Donald・MacDonald・ハウス にいがた」(以下「にいがたハウス」)は、新潟大学およびDMHCが共同で設置し、DMHCが運営を行っています。

県内唯一の特定機能病院である新潟大学医歯学総合病院には、県内外から多くの小児患者とご家族が訪れます。それを支える「にいがたハウス」には大きな期待が寄せられ、ハウス設立には新潟県・新潟市も全面協力。また2019年10月に発足した募金委員会による寄付・募金活動では、2,000名(法人含む)を超える寄付者から、建設費約3.5億円に対して約2.7億円※もの支援が集まりました。※2022年5月末時点

さらに、想定の数となる約300名の方が、ボランティアとして登録。まさに地域に支えられて誕生したハウスです。



NEW



Donald・MacDonald・ハウス
にいがた

部屋数: **10** 室

新潟市中央区旭町通一番町756番地9
(車で新潟駅より10分/白山駅より5分)

開放感のある4階建てで、地元・新潟県産の木材を多用した明るく、温もりを感じる空間です。1～2階には、利用者同士や利用者とスタッフの間で自然に会話が生まれる共用スペースを配置。3～4階のベッドルームは、10部屋のうち1室が車いすに対応しています。



公式HPでは各部屋の写真に加え、バーチャルツアーを公開中!まるで現地にいるような感覚で、ハウス内を詳しくご覧いただけます。
<https://www.dmhj.or.jp/jp-house/6621/>



ベッドルーム



ダイニング



多目的室 / 図書室

8月30日(火)、完成したハウスで開所式を実施

当日は関係者による挨拶およびテープカットのほか、寄贈品の贈呈セレモニーや応援メッセージの上映を行いました。寄贈品は、県下の4つの団体様※より県産のお肉・お米・お花、そして手作りのベッドカバーをそれぞれ贈呈いただきました。応援のビデオメッセージをくださったのは、白血病を乗り越えてアルビレックス新潟でサッカー選手として活躍する、新潟県出身の早川史哉選手。さらに、早川選手を含むチームの皆さまから寄贈いただいたサイン入りのサッカーボールとユニフォームもお披露目しました。メディアにも多数取り上げられ、県内でも大きなニュースとなりました。

※JAGグループ新潟 様、新潟県指導農士会 様、新潟県花き振興協議会 様、新潟万代ロータリークラブ 様



地元の著名人も、ハウスを応援!

10月にハウスを初訪問したのは、新潟が拠点のアイドル・NGT48の皆さま。サポート活動の内容発表会やハウス見学のほか、自ら育てたお米「ときむすめ」で、利用ご家族のためににいがたごはんを作ってくださいました。その後もチャリティラン&ウォークへの参加やお米・果物のご寄付など、「にいがたハウス」をご支援くださっています。

11月には、アルビレックス新潟の早川選手がハウスを初訪問。ハウス見学後、利用ご家族やボランティアの方々と対談を行いました。闘病生活における家族の存在について質問が及ぶと、ご自身も白血病を乗り越えた経験から「たとえガラス越しでも、家族の顔を見てそばにいるのを感じられるだけで励みになった」と、家族の存在の大切さを語ってくださいました。さらに早川選手は、この時交わしたボランティア参加の約束を果たすべく、12月にも再度ハウスを訪問。ピッチ外でも地元のヒーローでした!

支援者メッセージ

お話を伺った遠藤様は、ご自身もがんを経験され、「闘病中でも1人ではないと思えることが大切」という想いで患者の支援活動を行っていらっしゃいます。「にいがたハウス」へのご寄付・ご支援に託した想いとは—



がんカフェ「はなのね」
共同代表・ピアサポーター
遠藤 ゆき子さん

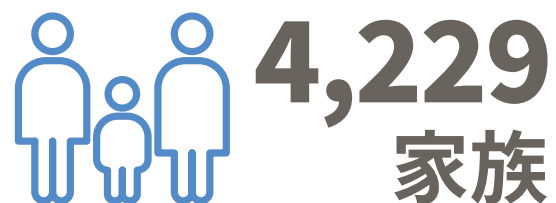
～寄付を通じて、病気の子どもの未来を支えたい～

現在「にいがたハウス」が建っている場所は、実は数十年前、私の塾への通学路でした。左手に大学病院を見ながら、友と高校入学後の部活や夢を楽しく語り歩いたことを思い出します。そんな思い出深い場所にハウスが建設されると伺ったのは、5年ほど前。参加していた大学病院のボランティア先でのことでした。それ以来、開設に向け私に何ができるかと心に留め、微力ながら協力をさせていただきました。

関係各位の積極的な寄付・募金額の確保、約300名ものボランティアの登録、新潟県産木材の香る空間など、どれをとっても、新潟県人として誇れる立派なハウス完成となり大きな喜びです。

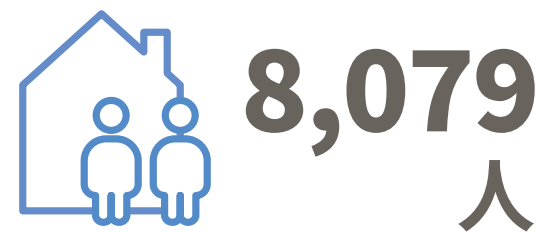
キラキラとした未来に希望を持った子どもたちが、今は思いがけない入院治療などで立ち止まるがあったとしても、温もりであふれた「にいがたハウス」でゆっくりと翼を休め、次のステップに進まれる日を迎えられることを心から願っています。

利用家族数



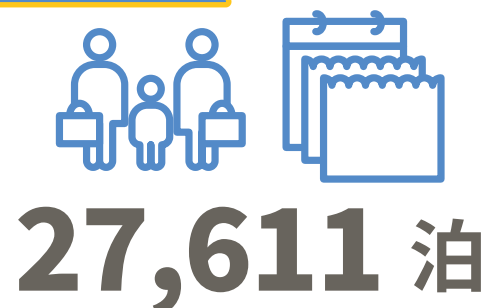
4,229のご家族が滞在され、入院中の子どもに付き添うことができました。

利用人数



8,079人がハウスでゆっくり休むことができました。

総宿泊数



27,611泊提供することができました。

ベッドルーム数

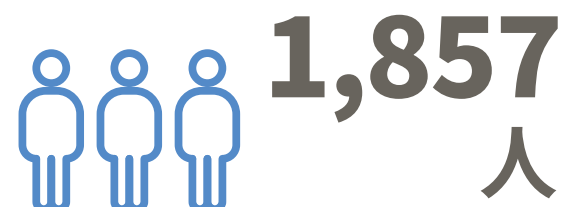


一晩で最大169家族がドナルド・マクドナルド・ハウスで安心して過ごすことができます。

全国のハウス数

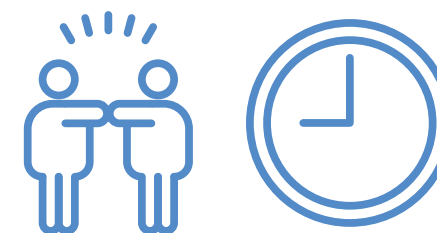


ボランティア人数



全国のハウスで日々活動し、病気の子どもとそのご家族をサポートしている仲間です。

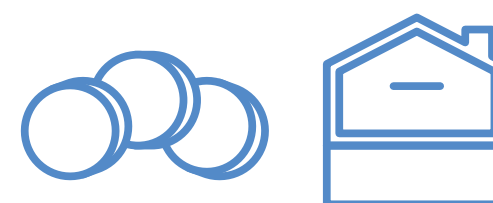
ボランティア活動時間数



119,289 時間

ハウス運営に関わったボランティアの活動時間数です。

募金総額



169,139,283 円

マクドナルドの店舗募金をはじめ、病院や地域商店にも募金箱を設置。また、各種募金イベント会場でも、多くの皆さまにご協力いただきました。

寄付者数



27,918 名

2021年の20,501名を7,417名も上回る、のべ27,918名の方からご寄付をいただきました。

寄付総額



540,300,155 円

ハウスの趣旨に賛同された企業や個人の皆さまのご協力で、ハウス運営は成り立っています。

DMHC STORY

ご家族の声

Voice from Family



そばにいる安心感と心休まる時間が、私たち家族を近づけてくれた。

息子の大虎は予定日より4ヶ月も早く生まれ、その時の体重はわずか723g。超未熟児として東大病院のNICU(新生児集中治療室)に入院することになりました。さらに、壊死性腸炎も患っていることが分かり、生後10日で手術を受けることに。病院まで片道1時間をかけて毎日訪れていましたが、当時はコロナ禍真っ只中。面会も満足にできない中、いつ何が起きるかわからないという不安に常に苛まれ、寝付けぬ日々が続きました。そんなある日、NICUの待合室にあったハウスのパンフレットを見て、その存在を初めて知り、すぐに利用することになりました。

実際にハウスを利用して嬉しかったのは、心休まる時間を得られたこと。ハウスは大虎が産まれてから家族みんなが一番近くで寝た場所で、すぐに駆けつけられる距離にいたという安心感から、妻も「産後初めてちゃんと眠れた」とホッとした様子でした。また、娘もそれまで大虎になかなか会えない状況が続いていたので、近くにいることで姉という実感が湧いたのでしょう。ハウスに滞在中は「あそこに大虎がいるんだよ!」と自慢するように話していたのを覚えています。そして何より、ボランティアスタッフの皆さんが温かく接してくれたのも嬉しかったですね。「いってらっしゃい」「おかえりなさい」という挨拶やちょっとした会話が、張り詰めていた私たちの心を緩めてくれて、本当に安らぐことができました。

今でも思い出すが、初めて息子を見た時のこと。保育器の中にある小さな息子に、外の世界をたくさん見せたいと思ったんです。だからこそ、今後は家族旅行をして、家族の思い出を増やしていきたいですね。そして、ハウスの存在をひとりでも多くの人に知ってもらうために、私たちにできることをやっていきたいと思います。



森 大樹さん・ゆずさん
大虎(はると)くん1歳・結愛(ゆめ)ちゃん5歳

ハウス利用回数: 2022年3月～(1回)
利用ハウス: 東大ハウス

病気の子どもに寄り添うご家族と、それを支えるボランティアさん。
両者の視点からハウスの存在意義を紐解く特別インタビューです。



ボランティアさんの声

Voice from Volunteer

看病の大変さを知る自分だからこそ、ご家族に安らぎを届けたい。

私がハウスでボランティアをしようと思った理由のひとつに、自分の過去の経験があります。昔、父が心臓の手術のために家から遠く離れた病院に入院していたことがあり、当時は家族みんなで苦労して通ったものでした。その時、「病院の近くに家族のための滞在施設があれば...」と思っていたので、時を経てハウスの存在を知った時は、驚きと喜びでいっぱいでした。ちょうど子どもも大きくなりボランティアをしたいと考えていたタイミングで、東大ハウスのボランティア募集のチラシを見て、すぐに参加することにしました。

私はボランティアスタッフとして月2回活動しており、主にハウス内の掃除・消毒、ベッドメイキング、チェックイン・チェックアウトの受付など、幅広く業務を行っています。他にもハウス主催のイベントを手伝ったり、過去には特技を活かして読み聞かせのイベントを開催したこともありました。

ボランティアを続けて12年、日々感じるのはハウスを利用するご家族から教わることが本当に多いということ。大変な状況にもかかわらず、いつも笑顔でいるその姿にどれだけ力をもらえたことか。だからこそ、ハウスを利用する間だけでも、ご家族ひとりひとりに少しでもホッとできる時間を届けたいと思っています。実際にご家族の方から感謝の言葉や退院の報告を聞いた時は嬉しいですし、大きなやりがいも感じています。

これからも利用ご家族をサポートしながら、今後はハウスを利用していないご家族のことも支援できる「ハートフルカート」をさらに充実させていきたいと思っています。日用品の他に工作キットや親御さん向けの本を載せるなど、いろいろなアイデアを出しながら、入院中の子どもとそのご家族がもっと安らげるようにしていきたい。それが、私の今の目標です。



ボランティアスタッフ
井上 登喜子さん

ボランティア参加期間: 12年
所属ハウス: 東大ハウス

ハウスの1日

利用ご家族編



お子さんの起床時間に合わせて病院へ移動。お子さんの朝食や身支度を済ませます。ハウスがあることで、目覚めた時から側にいてあげられます。

さまざまなパターンで滞在するご家族

患児のご兄弟がいる場合はご両親がハウスとご自宅の二手に分かれて生活したり、おじい様・おばあ様もハウスに滞在したりと、ハウスがあることで選択肢が増えます。また、以前はお母様だけの滞りが多かったですが、最近はお夫婦やお父様のみでの滞在も増えてきました。



平日は自宅にいるご兄弟が、学校のない週末だけハウスに来てご家族一緒に時間を過ごすことも。

皆さまのご支援によって日々運営されているハウス。

ところで、実際にハウスでご家族やボランティアの方々がどのように過ごしているかは、ご存知でしょうか？

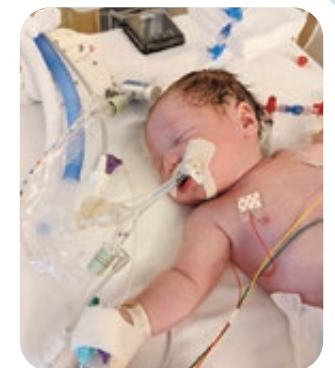
このページでは、ハウスのとある1日をご紹介します。皆さまのご支援が利用ご家族にとってどのように役立っているのか、ボランティアの方々が日々どのようにご家族をサポートしているのか、のぞいてみましょう！



ボランティアさんの「いってらっしゃい！」に見送られて、再度病院へ。お子さんのリハビリや診察に付き添います。また、朝お子さんに付き添ったあと、ハウスから直接職場へ向かうご家族もいらっしゃいます。



付き添いの合間に買い出しや洗濯を行ったり、お子さんの昼食後に自分のお昼を食べにハウスへ戻ることも。ハウスと病院が近く、行き来が楽なため、お子さんの状況やご家族の予定に合わせて柔軟に過ごせます。



起床後、病院へ

6:00



ハウスに戻って自分の朝食

8:00



日中の付き添い

10:00



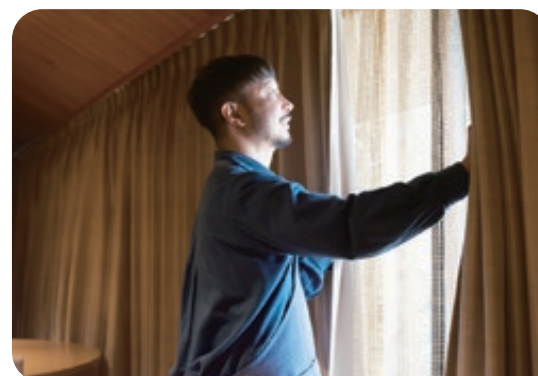
ハウスが大切にする「ホスピタリティ」

ハウスにおける「ホスピタリティ」とは、一般的な「おもてなし」＝モノや食事を提供するだけでなく、病気の子どもとそのご家族を大切に受け入れる気持ちを伝えていくこと。温かく、かつさりげなく、ご家族をサポートします。

- 寒い季節には、チェックイン前にベッドルームの暖房をセットしておき、ご家族を温かくお迎えします。
- お誕生日が近いお子さんには、ご寄付いただいたおもちゃなど、ちょっとしたプレゼントをお渡しします。

7:00

ナイトボランティアさんによる、朝の見回り



夜間～朝にかけては、ナイトボランティアさんがハウスに常駐しています。朝は共用部分のカーテンを開け、利用ご家族とあいさつ。出勤してきたスタッフに、夜間の引継ぎをします。

9:00～12:00

午前のボランティア活動



スタッフと朝のミーティングで予定を確認し活動開始。掃除や消毒などを行うほか、前日にチェックアウトしたお部屋を次のご家族のために整えます。ベッドメイクの際、小さいお子さんが滞在する場合は落下防止のためにベッドを壁側に付けたりベビーベッドを用意。活動の合間には、病院に行くご家族やチェックアウト(9～12時)するご家族をお見送りします。

ボランティアさん編



ハウスのキッチンには、ご寄付いただいた食品のほか、調理器具や食器、冷蔵庫も完備。ご自宅のように自炊が可能です。またランドリールームや洗濯用品、掃除道具もあり、なるべく日常と近い生活が送れるようになっています。

昼食・付き添い・家事や休憩 12:00



お子さんの夕食や寝る準備・寝かしつけを済ませ、ハウスに戻ります。病院からの帰り道にはハウスの明かりが。ボランティアさんの「おかえりなさい」で、張り詰めた気持ちがほぐれます。

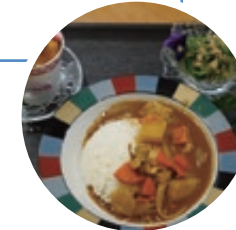
お子さんの夕食や就寝の支度 18:00



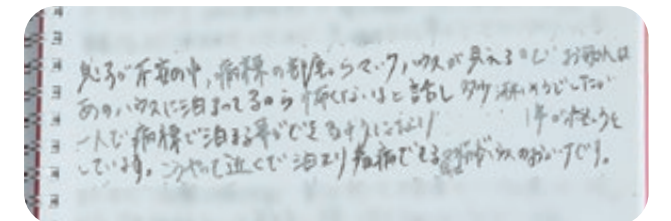
ダイニングでは食事のほか、利用ご家族同士でおしゃべりを楽しんだり、テレビを観てホッとひととき。励まし合ったり、「一人じゃない」と思える場です。

ご家族の声

- 「今日はカップラーメンでいいや」と思っていたらミールプログラムの食事があり、「やった!」と思いました。
- 付き添いで買い出しや料理すらも難しい時があるので、寄付の食料品やミールプログラムの食事はありがたいです。



自分の夕食や入浴・洗濯など 21:00



広いベッドで、ゆっくりとお休みいただけます。寝る前には自宅にいるご家族と電話をしたり、各部屋にある共有のノートに気持ちを書き出して整理することも。ノートには、さまざまな利用ご家族がそのお気持ちを綴っており、励まされたり共感するという方々も。また、夜間でも何かあればすぐ病院に駆けつけられます。

ゆっくりと就寝 23:00



12:00~18:00 午後のボランティア活動



午後のシフトは、12~15時・15~18時の2種類。チェックイン(14~16時)があるため、スタッフと共に対応します。このほか掃除や消毒の続き、備品補充やニュースレターの発送といった作業も。また、イベントやハートフルカート(p.20)の際は準備・実施をサポートします。

特技を活かした活動



料理・パッチワーク・園芸・英会話etc...
さまざまな特技を活かして活動するボランティアさんも。

ミールプログラム



ご家族のために食事を用意し提供すること。
不定期に実施しており、季節やイベントに合わせたメニューを作ることも。

企業ボランティア・物品の寄贈

ハウスには企業ボランティアの方々もお越しくださいます。掃除や食事の提供のほか、自社のノウハウを活かしてご家族への出張ストレッチを行うなどのユニークなご支援も。また、ご寄付や寄贈物品を、ハウスに直接届けてくださる方もいらっしゃいます。



18:00~翌9:00 ナイトボランティアさんによる活動



スタッフからの申し送り後、ナイトボランティアさんは夜2回と朝1回、ハウス内の消毒・巡回を行い、夜間のハウスの安全を守ります。23時~7時の仮眠時間も、何かあれば対応できるよう常にハウス内で専用の携帯電話を持って仮眠。

※ハウスでの過ごし方・活動内容は、各連携病院のガイドラインや感染症の拡大状況により異なる場合があります。全ハウス感染症対策を行い運営しております。

01

東大阪市との連携

2022年は、前年2月に東大阪市と締結したパートナーシップ協定に基づくチャリティ活動を積極的に行いました。同市主催の大規模イベント「HANAZONO EXPO」での募金活動やDMHCカラーの会場ライトアップのほか、同市を本拠地とするスポーツチームと連携したチャリティ活動も数多く展開しました。

東大阪市主催のイベントでの活動

■マスタース花園での募金活動

10月に花園ラグビー場にて行われた高校ラグビーOBチームによる交流大会にて、募金活動を実施。2日間で264,848円もの募金が集まりました。

■HANAZONO EXPOでの活動

11月5日(土)・6日(日)に開催された本イベントでは、会場である花園ラグビー場に募金ブースを設置し募金活動を実施。同施設を本拠地とする花園近鉄ライナーズ及びFC大阪の選手たちにも募金活動にご協力いただき、募金総額は419,515円でした。また夜間には、ハウス支援の「青いマツの日」にあわせて、花園ラグビー場がDMHCのテーマカラーのブルーにライトアップされました。



花園近鉄ライナーズとの取り組み

東大阪市の花園ラグビー場に拠点を置くラグビーチーム・花園近鉄ライナーズとは、1月22日(土)にパートナーシップ協定を締結。スポーツや文化、ボランティアを通じた地域交流やまちづくりに取り組むことを目指したこの協定に基づき、募金活動やイベントへの参加など幅広い活動でDMHCをご支援いただきました。

■ホームゲーム会場での募金活動

全6回の募金活動を実施し、募金総額は533,432円に達しました。

■チャリティオークション

4月29日(金・祝)から開催され、選手たちが前シーズンに使用したジャージやトレーニングウェアに直筆サインを入れて出品。集まった925,782円をDMHCにご寄付いただきました。



FC大阪との取り組み

■冠試合の開催

6月19日(日)、「井藤漢方製薬株式会社presents ドナルド・マクドナルド・ハウス応援day」を開催。ハウス利用ご家族の観戦ご招待や、会場内での広報活動などを実施いただきました。会場内の募金ブースでは、併設のキックターゲットコーナーも大好評。315,997円もの募金が集まりました。



■日本フットボールリーグ2022シーズン最終戦の会場での募金活動

当日は募金ブースと共に牛乳パック募金箱づくりのワークショップやキックターゲットのコーナーも設置し、多くの方に楽しみながらハウスのことを知っていただきました。108,170円の募金が集まりました。

02

美弥るりかさんの公演における募金活動

アーティスト(元宝塚歌劇団)の美弥るりかさんご支援のもと、美弥さんの出演舞台やライブなど3つの公演会場で、計12回の募金活動を実施。総額1,794,611円もの募金が集まりました。

美弥さんは2021年よりDMHCのサポーターに就任。ハウス訪問やイベントへのご参加など、ハウスを支援してくださっています。公演会場における募金活動でも、事前にご自身のSNSでファンの方々に支援を呼びかけてくださるなど、募金活動を全力でバックアップ。会場では美弥さんの想いに共感する多数のファンの方々が募金にご協力くださり、中には春の公演で募金のお礼に差し上げた募金缶に貯金をし、冬の公演の際にお持ちくださった方もいらっしゃいました。



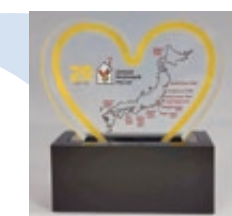
03

感謝の贈呈式

5月31日(火)、前年に100万円以上をご寄付いただいたプラチナ・ゴールド・シルバースポンサーの皆さまをご招待し、オンラインにて感謝の贈呈式を開催。当日は102名の方々にご参加いただき、日頃より当財団を支援してくださっている企業や個人の皆さまに感謝の意を表するとともに、前年の活動報告などをさせていただきました。

表彰では例年のスポンサー様への表彰に加え、今回は日本におけるハウス生誕20年を記念して、これまで継続的にサポートくださった方々を功労賞として表彰。

また、ボランティアの方とのトークセッションを行ったほか、前・成育医療研究センター院長の賀藤先生をはじめとする関係者の皆さまからも温かいメッセージをお寄せいただき、ハウス支援の輪を感じる式となりました。



04

チャリティラン&ウォーク

11月6日(日)～27日(日)にかけて、全国のハウスサポーターがオンライン上でつながるイベント「チャリティラン&ウォーク」が開催されました。全国どこからでも参加できるチャリティイベントで、今回は2,700名を超える皆さまが参加。最終日となる27日(日)には、YouTubeとインスタライブで生配信も実施し、大いに盛り上がりました。

この日はスポーツ、芸能、音楽などさまざまな分野から多彩なゲストにご参加いただき、ランニング企画やトークイベント・豪華賞品が当たる抽選会などを生配信。SNS投稿の紹介やZoomで配信に出演していただくことで、各地のサポーターの皆さまともつながることができました。さらに今回は投げ銭サービス「Doneru(ドネル)」を使用した生配信中の募金の呼びかけも行いました。また、同日に味の素スタジアムで行われたランニングフェスタでもご支援の輪が広がりました。

このイベントを通じて寄せられたご支援の総額は約18,500,000円となりました。

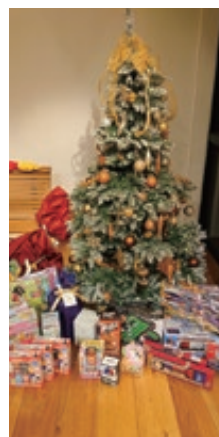


05

クリスマスサンタプロジェクト2022

2019年に女優の石田ひかりさんの発案により始まったこのプロジェクトは、全国からクリスマスプレゼントを募集し、クリスマスに自宅に帰れず病院で治療を受ける子どもたちやそのご兄弟へお渡しする活動です。今回も全国各地のサンタさんから、たくさんのプレゼントが集まり、そのおかげでクリスマスにハウスに滞在しているご家族を通して、入院中の子どもたちとそのご兄弟へ楽しいクリスマスプレゼントを贈ることができました。また、連携病院のご協力のもと、ハウス利用以外の入院中のお子さんにもプレゼントをお届けしたハウスも。

全国のサンタさんからの温かいお気持ちが、治療を頑張る子どもたちとそのご兄弟の笑顔につながりました。



06

京成電鉄チャリティライナー

京成電鉄株式会社のご支援で、「京成スカイライナー」に乗って家族でショートトリップを楽しむイベントが4月23日(土)に開催され、ハウスの利用ご家族12家族34名が参加しました。「春爛漫」をモチーフに車内を装飾したスカイライナーで京成上野駅から成田空港駅まで移動。成田空港交通株式会社・ANAホールディングス株式会社のご協力のもと化学消防車による放水を見学し、エアバス A380型機「FLYING HONU」との記念撮影を行いました。目の前の大きな機体とのお対面に子どもたちは大興奮の様子でした。

同イベントは12月17日(土)にも開催。8家族23名が参加し、クリスマスをモチーフに装飾されたスカイライナーに乗車後、洗車機の通過を車内で体験したり、「運転士・車掌体験」を行うなど、貴重な経験ができました。



07

学童野球大会におけるスマイルソックス募金

全国で行われた学童野球の大会にて、昨年も多くの球児と関係者が、「ドナルド・マクドナルド・ハウス支援スマイルソックス募金」にご協力くださいました。この募金では、協力してくださった方々へのお礼として、ハウス支援の象徴である赤と白のスマイルソックスをお渡ししております。学童野球大会においては2015年から取り組みが始まり、毎年多くの球児たちが、病気と闘う同じ年頃の子どもたちへの思いを込めてスマイルソックスを履いて参加してくれました。

2022年、全国大会「高円宮賜杯 第42回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント」およびその予選である都道府県大会においては、全国各地の約1,000チームからご協力をいただき、募金総額は7,256,210円に。また東京都軟式野球連盟による「東京都知事杯第5回東京都軟式野球マクドナルド・ジュニアチャンピオンシップ」においては、都内を中心とした48チームからご協力をいただき、募金総額は627,221円に達しました。



著名人のハウス訪問

昨年も、多くの著名人が全国のハウスを訪問。利用ご家族やボランティアさんと交流し、笑顔と勇気を与えてくれました。



大相撲・秀ノ山親方(元大関琴奨菊)・・・ふくおかハウス

ハウス手作りの紙相撲で、九州場所ならぬ「ふくおかハウス場所」を開催。ちゃんこ鍋もふるまわれ、笑顔溢れる1日となりました。



© 2022 日本プロ野球選手会

中日ドラゴンズ・福敬登選手と 広島東洋カープ・中村健人選手・・・なごやハウス

中日・福選手は名古屋を本拠地とする中日ドラゴンズでご活躍、広島・中村選手も名古屋市ご出身と、名古屋にゆかりのあるお二人。子どもたちやボランティアの方々に力強いエールを送ってくださいました。



東北楽天ゴールデンイーグルス・銀次選手・・・せんだいハウス

「せんだいハウス」を訪問し、入院中の子どもたちとのオンラインクリスマス会に参加。今回で10年連続10回目の訪問となった銀次選手は「子どもたちにはすごくパワーをもらっている。」と語ってくださいました。

プロ野球選手会からのご支援

2020年シーズンより日本プロ野球選手会所属選手が、Donald・マクドナルド・ハウスに対して「1安打につき1万円」「1登板につき1万円」など、選手ご自身で設定したシーズンの成績に応じた支援をスタート。2022年シーズンは、全12球団の所属選手39人が参加し、総額13,476,000円のご寄付をいただきました。



© 2022 日本プロ野球選手会

北澤豪さんによるチャリティフットサル大会やハウス訪問

ハウス支援のチャリティ・アンバサダーを務める、元サッカー日本代表の北澤豪さんが、昨年もさまざまな形でハウス支援を盛り上げてくださいました。

恒例となった北澤さんプロデュースのチャリティフットサル大会は、昨年は大阪・東京・新潟の3か所で開催。どの大会もスポーツを通じてチャリティに参加するという一つの目標に向かって全員がワンチームとなり、大きな盛り上がりを見せ、合計1,415,856円をご寄付いただきました。

また北澤さんは、昨年オープンした「にいがたハウス」をはじめ、積極的に各地のハウスを訪問。「とちぎハウス」では、地元のスポーツ少年団が育てたお米と一緒に稲刈りし、ハウスの利用ご家族へおにぎりにして振る舞ってくださいました。



ハートフルカート稼働報告

入院中の子どもたちと付き添うご家族をサポートするために「ちいさなギフト」(日用品・文房具・絵本・おもちゃ・アメニティなど)を載せて届ける、ハウスと病棟をつなぐ「ハートフルカート」。2021年より試験展開を始め、2022年より本格稼働を開始しています。入院生活に欠かせないグッズは、病氣と向き合う子どもたちとご家族にたいへん喜ばれました。

昨年は新たに7か所の連携医療機関で稼働を開始。その中の1つ、「おおさか健都ハウス」がある「国立循環器病研究センター」では、クリスマスを目前に控えた12月15日(木)にカートが初稼働しました。このカートは、アーティスト(元宝塚歌劇団)の美弥りかさんからのご寄付で制作したもの。当日はサンタ姿の同センター大津理事長や病院スタッフの皆さまにもご協力いただき、約70名のお子さんやご家族に「ちいさなギフト」をお渡ししました。子どもたちにはおもちゃや絵本が人気だったほか、付き添いのお母様たちには化粧品類が好評でした。入院中で変化の少ない日々の中、おもちゃを順番に選びながら子どもたちはイキイキと笑顔に。その姿を見て、嬉しくて涙ぐむご家族も。最後は「また来てねー!」と笑顔で見送っていただきました。



15か所の連携医療機関で稼働中 (★印は2022年より開始)

- 国立成育医療研究センター
- 自治医科大学とちぎ子ども医療センター
- 静岡県立こども病院
- 京都大学医学部附属病院
- 京都府立医科大学附属病院
- 兵庫県立こども病院
- 福岡市立こども病院
- 東京都立小児総合医療センター
- 宮城県立こども病院★
- 国立循環器病研究センター★
- 北海道立子ども総合医療・療育センター(通称:コドモックル)★
- 東京大学医学部附属病院★
- 名古屋大学医学部附属病院★
- 埼玉県立小児医療センター★
- 新潟大学医学部総合病院★

青いマックの日

マックハッピーデー



ポスターの背景やイラストは、ハウスの現・元利用ご家族の18名のお子さんに協力をしていただきました。

総額 2022年11月6日(日)

39,723,600円

マックハッピーデーは、各国のマクドナルドがその国の子どもたちの幸せを願い、長年展開しているグローバルチャリティ活動です。日本では2017年から実施され今年で6回目を迎えました。毎年この日は、ハッピーセット®1つの販売につき50円を、日本マクドナルド株式会社および日本マクドナルドフランチャイジーの皆さまからDMHCにご寄付いただいております。

2022年の「マックハッピーデー」のテーマは「青いマックの日」。青はDMHCのテーマカラーです。当日はマクドナルドの店舗が青い店内装飾で彩られ、商品をお渡しするバッグも青い限定パッケージに変更。さらにクルーの皆さまも青いアイテムを身に着けて募金活動などを実施してくださり、日本中のマクドナルドがハウス支援の優しい気持ちに包まれました。



全店舗に募金箱を設置

総額 2022年1月～12月の募金

75,769,737円



モバイルオーダー募金とハッピーセット®募金付きクーポンの配信

総額 2022年1月～12月の募金

47,921,690円

プロ野球公式戦を通じた支援

日本マクドナルド社、日本マクドナルドフランチャイジーが協賛したプロ野球公式戦にて、募金活動や利用ご家族の観戦ご招待など、さまざまな支援活動を実施していただきました。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだいデー」開催

5月11日(水)、日本マクドナルド社、日本マクドナルドフランチャイジー、および東北楽天ゴールデンイーグルスの皆さまのご協力のもと、「せんだいハウス」を支援するチャリティイベント「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだいデー」が開催されました。当日は、「せんだいハウス」を利用する25組のご家族をスタジアムにご招待し、スターティングファミリーやボールパークツアーなど特別な体験をプレゼントしました。また、会場の楽天生命パーク宮城に募金ブースを設置し募金活動を実施。このイベントでのご支援総額は662,404円となりました。



©Rakuten Eagles

「大阪マクドナルド50周年感謝デー」での、「おおさか健都ハウス」支援活動

9月19日(月・祝)、日本マクドナルド社、日本マクドナルドフランチャイジー、およびオリックス・バファローズの皆さまのご協力のもと、「大阪マクドナルド50周年感謝デー」にて、「おおさか健都ハウス」利用ご家族の観戦ご招待や、同ハウスを支援する募金・告知活動を行っていただきました。当日は京セラドーム大阪での活動にマクドナルド関係者の皆さまやハウススタッフ・ボランティアなど総勢60名以上が参加し、このイベントでの募金額は1,119,800円となりました。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ応援ナイター」～病氣と闘う小学5年生が、憧れの選手と初対面＆始球式のマウンドへ～

9月26日(月)、日本マクドナルド社、日本マクドナルドフランチャイジー、および北海道日本ハムファイターズの皆さまのご協力のもと、「さっぽろハウス」を支援するチャリティイベント「ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ 応援ナイター」が開催されました。当日は札幌ドーム内に募金ブースを設置し募金活動を行うほか、ブースやスタジアム内の電光掲示板で「さっぽろハウス」への支援を呼びかけ、このイベントでの募金額は522,305円となりました。また、このナイターでは「さっぽろハウス」利用者の女の子が、始球式に挑戦しました。新生児脳梗塞による右片麻痺の後遺症と闘う萌ちゃん(小5)は、野球と日本ハム・近藤健介選手が大好き。毎週おじいちゃんと練習を重ねて当日を迎えました。そんな萌ちゃんの元を、なんと本番前に近藤選手がサプライズで訪問!サイン入りの帽子とボールをプレゼントし、本番に向けてキャッチボールを行いました。本番では大好きな近藤選手のユニホームに身を包み、全力投球を披露した萌ちゃん。その姿はメディアにも取り上げられ、イベントを通じてDMHCの取り組みを伝えることができました。



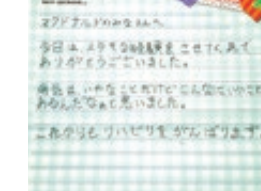
萌ちゃんの晴れ姿を、ご家族も見守った



憧れの近藤選手と萌ちゃん



会場での募金活動



萌ちゃんからの感謝のお手紙

サポーター紹介

Supporters

※敬称略、五十音・アルファベット順
※ご寄付の際に、「氏名の掲載を希望する」欄に
チェックを入られた方を掲載しています。

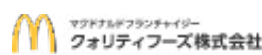
Platinum Sponsor

遠藤 ゆき子

廃油回収・
リサイクル業者の会



Gold Sponsor



豊嶋 美智子



Silver Sponsor



株式会社
アグレッシブスタッフ

株式会社
アドバンス

株式会社
アビリティ



石川 柊太
(福岡ソフトバンクホークス)

今井 邦之・やよ

株式会社
ウィザード

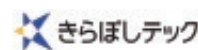
有限会社
エグチ



株式会社
エムトラスト

株式会社
オープンセサミ

株式会社オカダ



株式会社
ケイエスアイ



株式会社甲輝



有限会社
サムライズ



シオノギ
社会貢献支援会

四ヶ所 早苗

ジボダンジャパン
株式会社

新開 敦子



鈴木 大地
(東北楽天ゴールデンイーグルス)

有限会社
ステイブル



千賀 澁大
(福岡ソフトバンクホークス)

医療法人社団
たいようのき
オリーブ在宅クリニック

株式会社貴久
市川雄久

有限会社タキヤ

竹内 久雄

タビーコーポレーション
株式会社

株式会社
Dダイニング



永井 成子

中村 晃
(福岡ソフトバンクホークス)

西川 哲文

プロゴルファー
西村 優菜

西村 由美子



日鉄物産
株式会社



日本マクドナルド
オーナーオペレーター会

株式会社
布屋



株式会社ハーベスト
代表取締役 畠 勝彦
2022年

株式会社
ピアレス

有限会社
ビコーズ

株式会社
ビッグタイム

ヒロフーズ
株式会社



丸 佳浩
(読売ジャイアンツ)

医療法人みたけ会
きたもと脳神経外科クリニック

森下 衛

株式会社
遊



株式会社
リバーサイド
コーポレーション



若林 宏明

Bronze Sponsor

ICS国際コンピューター株式会社
愛知県立中村高等学校 創立70周年記念委員会
医療法人愛和会 愛和病院
あおいそら株式会社
青木 慧子
青柳 宏
赤津 義信
赤羽小児科クリニック
赤星 優志(読売ジャイアンツ)
赤松 真后
秋月 孝雄
秋山 政孝
浅井 祐二
株式会社アスクラガーデン 代表取締役 朝倉 孝修
朝倉デンタルクリニック 朝倉光史
あさくらひでお
浅野 潔
アストラゼネカ株式会社
株式会社アスベン
東 昌一
東 慶輝
足立 隆厳
アツヴィ合同会社
株式会社アップライト
阿部 智一
株式会社阿部内装
阿部 雄太
株式会社アムズ
株式会社アメリコ
荒木 晶子
有住 英一郎
有限会社アルファイン
株式会社アルファパーチェス
粟野 裕
安藤 勲
株式会社EXTレーディング 多田光男
いえとみ内科胃腸科クリニック
五十嵐 渉
池田 興一
池田 祥三
諫山 伸次
石井 寛
石川 孝広
石川 暢子
石黒 ミ
石坂 治俊
石田 健大(横浜DeNAベイスターズ)
石原 清行
泉七北田こどもの杜クリニック 窪 智宏
磯 裕明
市川 健一
イチカワ コウイチ
市川 聡
伊藤 篤朗
伊藤 勇
イトウ タカユキ
伊藤 光(横浜DeNAベイスターズ)
伊藤 昌也
伊藤 満
伊藤 宗芳
猪野 賢一
井上 栄一
井上 千賀子
井上 正治
今井 功二
今井 幸
今井 真
入交 章二
イワイマサト

岩田 直樹・恵子
株式会社ヴィーヴォ
上田 徹
植田油脂株式会社
医療法人ウェルビーなかもらレディースクリニック
氏川 晃一 麻美
臼井 公望子・望緒
臼井 剛
宇野澤 和夫
梅川
HSキッチン
江河 宏征
有限会社Nis
有限会社エムエスピー
株式会社MCエバテック
一般社団法人 MDRT日本会
遠藤 起予子
遠藤 綾亮
扇屋商事株式会社
大垣 邦紘
株式会社 大木組
大熊 洋一
太田黒 久寛
太田 司
太田 乃理子
大沼 和久
大場 淳一
大深 哲也
有限会社オカザキ 代表取締役 岡崎勝男
岡田 江利香
岡村 英明
小川 達次
小川 紘生
小川 泰弘(東京ヤクルトスワローズ)
荻原 慶也
おくchannel
小田中 隆二
小野 修一
小野木 義徳
小野田 浩
オリーブ在宅クリニック
恩田 渉
医療法人社団 海美会 希望ヶ丘耳鼻咽喉科
かがわ かずなり
柿崎 周平
カゴメ株式会社
加治屋 蓮(阪神タイガース)
梶山 正明
片江 慎
門 隆志
加藤 明
加藤 真知子
金子 良平
カネショウルーイ
株式会社カネダイ 代表取締役 佐藤 俊輔
狩野 貴史
神山 崇
嘉弥真 新也(福岡ソフトバンクホークス)
川口 剛
川越インタークリニック
かわごえ小児科クリニック
河添 和子
川名 哲夫
川西 克幸
川野 靖典
河野辺 孝則
河村 玲
川本 恵子
関西美容会

北澤 豪
北田 善保
北円山社のこどもクリニック 院長 石津 桂
株式会社喜戸コーポレーション
株式会社キノシタ
木下 郁雄
君野 弦
木村 隆司
木村 隆之
銀次(東北楽天ゴールデンイーグルス)
株式会社グッドイーティング
株式会社GOOD VIBES
久保田 英也
桑原 有貴
有限会社クラッチ 2022年
株式会社グランツ
有限会社グリーンフィールド
車 伸五
呉 繁夫
黒木 昭彦
K.富美子
健株式会社 代表産業医 梶本 隆夫
小池 健仁
小池 康一
小池 亮治
小泉 清則・小泉 雅子
江夏 利哉
國保 光子
小越 美佳
小寺 美男
小林 保洋
小藤 栄紀
株式会社小松崎
小見野 正夫
株式会社コメットカトウ
コヤナギユウ
小山 和憲
近藤 健介(北海道日本ハムファイターズ)
株式会社コントリビュート
埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科 浅沼 聡・安達 のどか
埼玉養蜂株式会社
齋藤 浩幸
坂倉 将吾(広島東洋カープ)
酒巻 雄二
坂本 崇
有限会社サクセスフーズ
作本 学
佐々木 喜一郎
佐々木 琢磨睦子
佐々木 雅典
株式会社札幌フードシステムズ
佐藤 功
佐藤 信
佐藤 俊仁
佐藤 泰祐
佐藤 裕太
佐野 恵太(横浜DeNAベイスターズ)
佐野 智
澤田 和昌
株式会社ジェイアール
支援キルトの会ふーぶ
汐見 明日加
汐見 壽賀子
塩谷 美博
篠原 孝之
柴田 一生
柴田 富久子
嶋田 郁美
清水 陽湊

Bronze Sponsor

下平 美奈子
昭和フード株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
JAPAN COMMUNITY IMPACT
白川 貴教
神宮 敦
じん整形外科クリニック
新道北口歯科 安達 政人
杉本 譲
鈴木 宏
鈴木 裕紀
スターゼンミートプロセッサー株式会社
有限会社ステイブル 石川 隆和
ステラフィールド株式会社
株式会社スペースエム
医療法人社団 成陽会 ひだまりスマイル歯科
関根 昭太
関谷 敦史
瀬古 昂
芹澤 健太郎
一般社団法人善
株式会社社台にしむら
宗 代次
第一生命労働組合 札幌総合営業職支部 2022年
第一生命労働組合 道央営業職支部 令和4年
株式会社大果 代表取締役 前田 一仁
有限会社タイムイコーボレーション
高木 忠雄
高木 のぶ子
株式会社TAKASAKI
高橋 一穂
瀧岡 万須美
滝 元宏
竹内 彰彦
竹内 優作・彩
竹岡 一
有限会社タケン工業
たけつな小児科クリニック
竹村 英作
武村 雪絵
田澤 薫
田島 伸也
達家 理咲子
有限会社タナカ
田中 久則
田中 裕人
谷 平
田西 恵美子
谷関 邦康
玉井 宏明
株式会社丹青社
張 太樹
ツカモト サチコ
塚本 浩
津田 一明
土田 清人
土田 浩喜
橋本 裕生
堤 厚誌
鶴谷 将良
DKテック株式会社
株式会社TBWA HAKUHODO
株式会社デサキ
デリカフーズ株式会社
テルウェル東日本株式会社
出羽 克紀
公益財団法人東京都軟式野球連盟
医療法人社団東晴会
株式会社東和キャスト 代表取締役 朝日徹太郎

外川 哲也
合名会社徳永商店
戸田 直哉
豊橋南藤井眼科クリニック 藤井 康生
虎澤 里美
鳥潟 美夏子
有限会社ドリカム
中井 洋史
中浦 雅子
中川 善富
長澤 昌枝
中澤 好夫
中島 信弥
中島 良平
長瀬 淑子
永田 靖
中田 亜由子
中田 修裕
中野 栄造
長野 純
中野 尚汰
株式会社ナガノトマト
中野 凌
長橋 幸雄
中林 昭
中水 英紀
中村 剛也(埼玉西武ライオンズ)
中山 久徳
鍋島 正幸
鍋島 由香里
株式会社NANSOビバヤス 代表取締役 南 醒人
難波 秀則
新潟県医療労働組合連合会
二階堂 恭弘
西 隆也
西岡 ヒロ子
西村 和則
西村 俊亮
西村 武史
株式会社ニチレイフーズ
日世株式会社
株式会社日本経営開発協会 株式会社関西経営管理協会
日本マッケイン・フーズ株式会社
日本メドトロニック株式会社
有限会社ニューステージ
株式会社Neolive
野口 将斗
野田 亮太
野々下 崇
野間 啓
野村 祐司
株式会社ノモト
株式会社バーベン
博多港運株式会社
橋口 文直
橋本 直人 美紀
橋本 整
橋本 良男
長谷川 香那子
長谷川 太郎
長谷川 直輝
長谷川 英樹
畠中 博史
畑中 紘美
花井 晴美
花城 規之
花城 正也 花城 大地
パナソニックコネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー
濱田 宏一

有限会社濱フーズ
原 恭司
原 宏之
原本 俊則
ビーコン・コミュニケーションズ株式会社
医療法人社団PDS アップル小児矯正歯科
日色 保
東野 育代
菱沼 秀仁
秀夫&ノブ
檜山 繁樹
平田 吉博
平野 浩史
平横 明人
弘中 信治
広橋 貴寿
株式会社フィールド・アロー
株式会社フォーティ・エス
フォンテラジャパン株式会社
福 敬登(中日ドラゴンズ)
藤井 清弘
藤井 達也
藤井 善豪
藤尾 美江子
藤田 和也
藤野 智哉
富士プロート株式会社
藤原 良太郎
二見 達彦
芙蓉ハートフルファンド100(芙蓉総合リース株式会社)
有限会社フリーバード
古田 希美恵
古舘 実
有限会社ブレイクスルー
平友会 名誉顧問 嘉藤田 章博
別所 悦幸
有限会社ベルエキップ
株式会社ヘルス
株式会社豊昇 竹内 健
保谷 則之
北東 哲也・美苗・澤
北海道マクドナルドFC チャリティーゴルフ2022
有限会社ホット・ショット
ホリグチ ケンイチ
本坊 浩子
有限会社マイルス
前田 一仁
前鶴 俊哉
前山 裕正
増田 達至(埼玉西武ライオンズ)
松浦 光児
松浦 武
松田 淳志
松本 隆寛
医療法人松本ファミリークリニック
眞野 昌子
マルホン株式会社
株式会社マルマサフード
三國 文敬 ミックン
水上 八行
水田 耕一
株式会社みずほ銀行
三國 勇獅
ミタニ ヒロト
箕野 博之
壬生 秀明
宮崎 佳奈・夏帆
宮下 建治
宮田 久子

Bronze Sponsor

みやはら耳鼻咽喉科 高橋 直人
宮本 幸祐
茗荷谷レディースクリニック 河合有希
ミヨシ ヨシノリ
三輪 晃子
村岡 広希・村岡 望・村岡 悠斗
村田 星也
村田 美保
村松 真紀
株式会社明成
株式会社メディチュア
メロディアン株式会社
望月 瑞歩
森 厚
森 唯斗(福岡ソフトバンクホークス)
森井 太郎
盛 憲子
森島 正宏
森田 美和子
森本 貴大
森山 邦代・愛由子・大輔
株式会社モリヤマフードシステムズ 代表取締役 森山 勝美
ヤギ コウヘイ
八木 晴子
矢嶋 裕徳
安川 慎治
柳 秀雄
八尋 光良
矢吹 辰男
蔽下 誠
矢部 秀治
株式会社山一ホーム
山崎 浩
株式会社山全フーズ
山田 哲人(東京ヤクルトスワローズ)
有限会社ヤマダ・フードファクトリー
大和(横浜DeNAベイスターズ)
山名 愛一郎
株式会社山中
山中 輝美
山西 明子 中川 志歩
ヤマモト シュウジ
山本 猛
山本 信夫
山本 正樹
株式会社遊 従業員一同
株式会社ユーコー
UCC上島珈琲株式会社
ゆうと
株式会社ユニファイジャパン
吉川 道隆
ヨシダ アルト
吉田 卓史
吉田 信康
吉見 昇平
米田 久雄
株式会社楽天野球団
株式会社Ricos
立仙 哲也
医療法人社団緑鈴会
Y, family じいじ、ばあば
若月 健矢(オリックス・バファローズ)
若月 寿王
若菜 重昭
渡辺 優
ワルナスூリヤ シャシー
Adenan Andrew
Aitkazina Aliya
Akgun Okan

Alegnani Jaime
Alegnani John
Alison
Allen Ray
Anapuzha Rajagopal
Andrew Roach
Anupa Wijesinghe
Arana Hector
Ashburn Kim
Ashley Tsien
Attia Moncef
Azio1
Bachinskas John
Baehr Andrew
Baghdassarian Zareh
Ball Prasopkiatpoka
Berenguer Ignacio
Black Ships
Blake Perlman
Bourdi Tom Taoufik
Bradley Peiper
Brent Egeland
Brian Cummings
Brian Pierce
Bridget J Seay
Brooke Ripley
Bumbalo Linda
Bunjamin Dedy
Calleja Andrea
Camille Aromas
Carim Armanios
Caring and Perseverance
Carniglia Simone
carrere christophe
Casey Patricia
Chad Sutton
Chan Corinna Chi Man
Chan Shan Ching
CHAN, Kwan kit
CHANG SHUYUN
CHANGCHUN SHEN
Chansate Picheat
Chantaramethakun Akaparp
Chapman Kimberly
Chavez Rojas Rodrigo
Cheng Cheuk Yan Douglas
CHERYL DONALD
Chicagoland Community
CHIN-LUAN YU
Cho Andrew
Cho Patricia
Choon Siang Tan
Chou Tommy
Chris Schwarz
Christy Avisado
CHUNG TENG KO
Clerc Alexandre
Coffey James
Connor McVeigh
CUKON MILJENKO
cummings john
Cunningham Andrew
D.L. Engineering Inc.
da Silva Junior Edson
Dan Heasman
Danahy Mark
Daniel Law
Daniel Miller
Danimir Ljepava

Danny Boy
DAVID UZTOPAL
David Yung
Dean Hoornaert
Deanna DiSalvo
Denis Soulieres
Dennis Furniss
Diego Arevalo KPX Active
djauw hendy
Donald Wehmann
Dover Philip
Dover Tracy
Dulauroy Damien
DUTT SANJEEV
Eddie Bennett
Eitan Rothman
Elizabeth Newton
Ellen Yip
ellis leonard
Eric Penegor
Ezell Sherry
fab kiun
Fadelu Temidayo
Fahd Mukhtar
Filler Donnie
Flavia Foz Mange
Flint Catherine
Forrester Noel
Fortin Regis
Frederick Buencamino
Gaerlan Jeamylin
Gan Tong Tat
Gareth & Helen Morgan
Gaudino Donna
Gavin McLeod
gerald rauman
Geraldine Aine
Gillespie Leah
Gray Dean
Gregory Sobol
Grimert Thomas
Guarin Cardona Ariel
GUEDES P LEITE JOAO HENRIQUE
Gulf Kanawut JFC
H+K INTERNATIONAL
Hammarstrom Kristina
Hardy Lina Arto
Harsh Choksi
Healy Kevin
Heather Carpenter
Heather OConnell
Helen
Helen Yan
Helfand Steven
Hemsley Matthew
Hesse Adam
Hickman John
Hignell Kenneth
Hilliard Karen
Hong Sung-Min
Hu Xiaochun
HUICHUN WANG
Hull Bryan
Hung Kuo-Chang
Hunter Philbrick
ikeda makoto
J & CO
Jacquelyn M Sargenti
Jakob Bergendorff

Bronze Sponsor

James Grau
Janice E Character
Jarrod Gibson
JC
Jeanne Laila
Jen Maddox
Jenni Keagbine
Jiang Wang
Joanne Bradbury
John
John Bradbury
John W Freeman
Jonathan Gerber
Jonattan Rodas
Jones Rebecca
Julie Boll
Julie Gokhman
julie gross
Kai wan
Kallikadavil Arun
Kapolnek Thomas
Kapolnek Tom
Kartono Michael
KayPuentes
KAZ.el-viento
Keith Drayer
Kemp Johanna
Kenny Lozano
Kenny Michael
Kestin Todd
Kevin Butterfield
Koebel Hugh
KUAN LIN CHIEN
Kuang Barbara
Kuchinad Amar
KWOK WAH LAM AELAM
Laorattaphong Nantiya
Laura
Lee Randy
Leigh Sheila
Lemirande Jennifer
Levent M.
Li Xiaotong
Liegghio Stephen
Lijie Zheng
LIN CHUNCHU
Lincoln Stokes
Lo Chung Keung
Lo Mikel
Lori Toborg
Luis Felipe Baldwin
Lynch Vicki
Maddocks Jordan
Maggi Laura
MANGONAUX HERVE
Maria Victoria Morado
Marie Tempton
MARIO NASCIMENTO
Mark Rieman
Martuscello Jason
Matteo Monti
Mauricio Gariglia
Mauro Victor
Max Jahn
Merene Jan
Michael Alcaide
Michael Carlsen
Michelle Ladonne
Mike Westerhold

Milillo Naraine Adriana Maria
MILLIGAN GARY
MILLIGAN SUSAN
Morakot
Mrs. V
Muniratnam Palvannan
Ngamwongmas Boonyarit
NICHOLAS WALLACE
Nichols Kirk
Nick Henderson
Nick Homan
Nicky Hsieh
Nico Tomaselli
NuAge Builders
Ortiz Victor
Ovalle Hilda
P.C.C
Pai Harish
Parktel Lindt Darren
Patrick Daly
Patrick Renner
Paul Hulme
Paul Kevin
Paula Gama
Paula McGrath
Peng Qian
Phelps
Phonpisit Pakpoom
Pinard Nicole
Pirates of Sunrise
Poirier Nancy
Qinbi Xu
Q's
Quartin Graca Pedro
Quintero Kelly
Rachael Elizabeth Spence
Randall Mendez
Richard Vokes
Ricupero Carlo
Ricupero Moraig
ringring
rippmonster
Rivera Heredia Luis Miguel
Roby
Ross Chestnut
Roy Julie
Run_Taef_Run
Run-4- Fun
Rungasamy Daven
Ryan Chen
Sadie Ann
Salehitezangi Ameen
Salman Khan
Samantha Medina
Sands Paul
Sanger Kimberly
Sarah & Ernest Casanova
Sarb Kaler
SCARABO
Schozer Adria
Scott Higgins
Sean Attebury
Secure 20th
Shah Rashesh Chandrakant
Shea Clayton
Shelley Ervin
Sherry
Shou Jane
SIDNEI BARBOSA DOSSANTOS

Sivo
Slomski-Rangel Bethany
Smola Aleksandra
STANLEY CHUNG CHAN
Stephanie Moyer
Stephen Coyne
Stephen Varady
Steve
Steven Waldvogel
Stuhldreier-Christ Michael
Sultanov Gani
Suzanne Dougherty
Taing Judy
TAKAE ONO
TAMADA TATSUYA
Tangtrongjetana Pouchkine
Tanteera
Team JPS
Teper Jeffrey
The Battis Family
The Djauw's
Thomas
Torres Adelio
Toshihiro
Tranberg Boris
TSENG CHUN-YAO
Tyler Larson
Vasquez Del Carpio Rodrigo
Ve Han
Vidal Afife
Vollberg Carlton
Waldron Imelda
Wang Cong
wang Julia
Wastell Robert
Widman Alli
Wiest Benjamin
Wilgosh Daniel
Willy Hardjono
Wong Hoi To
Wong Mei Fan
Xiao Dingshan
XIN FUNU
Yeh Chun yih
Yen Jason
Yonamine David
Yonamine Douglas
Yoshihisa. W
Yue Zhang
Yuet Mei Chee
Yuhong Gong
yumika yanagita
Zaharik Chad
Zarling Stacey
Zeng Xiaogui
Zhujun du
Zmich Senica
@VJRSOUNDJ

正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

2022年1月1日から2022年12月31日まで（単位：円）

科 目			当 年 度	前 年 度	増 減
1・経常増減の部	(1) 経常収益	1 財産運用収入	0	0	0
		基本財産運用収入	0	0	0
		特定資産運用収入	0	0	0
		2 ハウス事業収入	42,769,722	34,064,386	8,705,336
		宿泊料収入	37,079,160	29,160,900	7,918,260
		補助金収入	775,500	872,500	△ 97,000
		その他の収入	4,915,062	4,030,986	884,076
	3 寄附金収入	寄附金収入	350,015,653	298,970,596	51,045,057
		募金収入	301,138,797	260,579,965	40,558,832
		会費収入	45,447,856	34,647,631	10,800,225
			3,429,000	3,743,000	△ 314,000
		4 補助金等収入	0	0	0
		地方公共団体補助金収益	0	0	0
		5 その他収入	41,317,485	10,905,203	30,412,282
		雑収入	41,317,485	10,905,203	30,412,282
	経常収益計		434,102,860	343,940,185	90,162,675
	(2) 経常費用	1 事業費	354,833,135	304,879,453	49,953,682
		(1) ハウス事業運営費	354,833,135	304,879,453	49,953,682
		人件費	157,178,978	128,454,998	28,723,980
		水道光熱費	40,419,288	28,343,059	12,076,229
		租税公課	16,749,203	14,794,543	1,954,660
		減価償却費	63,714,121	58,615,441	5,098,680
		その他の経費	69,103,323	55,636,549	13,466,774
		事業関連経費	7,668,222	19,034,863	△ 11,366,641
		(2) ボランティア事業	0	0	0
		ボランティア助成費	0	0	0
		旅費交通費	0	0	0
		2 管理費	144,066,124	90,828,398	53,237,726
		役員報酬	12,000,000		0
		人件費	48,941,550	37,924,549	11,017,001
		旅費交通費	5,356,129	2,344,827	3,011,302
		会議費	324,369	131,491	192,878
		通信運搬費	67,359	79,352	△ 11,993
		減価償却費	3,581,489	3,213,091	368,398
		消耗品費	15,059,144	9,278,954	5,780,190
		印刷製本費	2,889,085	2,919,307	△ 30,222
		催事費	25,656,640	1,149,610	24,507,030
		諸謝金	0	68,500	△ 68,500
		委託費	14,934,544	10,583,120	4,351,424
2・経常外増減の部	(1) 経常外収益	有価証券評価益	0	0	0
		経常外収益計	0	0	0
	(2) 経常外費用	固定資産除却損	0	0	0
		指定正味財産への振替額	0	0	0
		経常外費用計	0	0	0
		当期経常外増減額	0	0	0
		当期一般正味財産増減額	△ 64,796,399	△ 51,767,666	△ 13,028,733
		一般正味財産期首残高	2,380,507,294	2,432,274,960	△ 51,767,666
		一般正味財産期末残高	2,315,710,895	2,380,507,294	△ 64,796,399

指定正味財産増減の部

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
受取寄付金額	362,852,785	193,920,511	168,932,274
一般正味財産からの振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	362,852,785	193,920,511	168,932,274
指定正味財産期首残高	957,493,256	763,572,745	193,920,511
指定正味財産期末残高	1,320,346,041	957,493,256	362,852,785
正味財産期末残高	3,636,056,936	3,338,000,550	298,056,386

貸借対照表

2022 年 12 月 31 日現在 （単位：円）

科 目				当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ 資産の部	1 流動資産	現金		2,466,869	2,306,754	160,115
		普通預金		139,562,447	90,684,540	48,877,907
		郵便貯金		180,553,536	134,912,247	45,641,289
		未収金		0	0	0
		流動資産合計		322,582,852	227,903,541	94,679,311
	2 固定資産	基本財産	基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
			基本財産土地	222,680,900	222,680,900	0
			基本財産合計	522,680,900	522,680,900	0
		特定資産	ハウス建設積立資金	0	230,968,780	△ 230,968,780
			ハウス修繕等費用準備資金	107,633,120	101,684,000	5,949,120
			ハウス運営・建設積立資金	797,665,141	434,812,356	362,852,785
			特定資産合計	905,298,261	767,465,136	137,833,125
		その他の固定資産	建物	1,856,008,475	1,717,175,010	138,833,465
			構築物	10,603,174	12,394,040	△ 1,790,866
			什器備品	16,032,047	11,754,267	4,277,780
			ソフトウェア	5,666,446	6,123,495	△ 457,049
			電話加入権	76,440	76,440	0
			建設仮勘定	0	75,031,000	△ 75,031,000
			その他の固定資産合計	1,888,386,582	1,822,554,252	65,832,330
			固定資産合計	3,316,365,743	3,112,700,288	203,665,455
		資産合計		3,638,948,595	3,340,603,829	298,344,766
Ⅱ 負債の部	1 流動負債	未払金		2,506,038	0	2,506,038
		仮受金		0	3,000	△ 3,000
		預り金		385,621	2,600,279	△ 2,214,658
		流動負債合計		2,891,659	2,603,279	△ 2,214,658
	2 固定負債	固定負債合計		0	0	0
Ⅲ 正味財産の部	1 指定正味財産			2,891,659	2,603,279	△ 2,214,658
	2 一般正味財産	(うち基本財産への充当額)		1,320,346,041	957,493,256	362,852,785
		(うち特定資産への充当額)		(522,680,900)	(522,680,900)	0
				(797,665,141)	(434,812,356)	△ 64,796,399
		(うち基本財産への充当額)		0	0	0
		(うち特定資産への充当額)		(107,633,120)	(332,652,780)	298,056,386
		正味財産合計		3,636,056,936	3,338,000,550	298,056,386
		負債及び正味財産合計		3,638,948,595	3,340,603,829	298,344,766

財産目録

2022 年 12 月 31 日現在 （単位：円）

科 目					金 額
Ⅰ 資産の部	1 流動資産	現金預金			
		現金	現金手許有高	※1	2,466,869
		普通預金	みずほ銀行新宿新都心支店	※1	0
			みずほ銀行成城支店	※1	26,089
			杜の都信用金庫宮城町支店	※1	11,377
			りそな銀行千里北支店	※1	958
			足利銀行自治医大出張所	※1	181,971
			北海道銀行新川中央支店	※1	128,023
			多摩信用金庫西国分寺支店	※1	139,691
			きらぼし銀行春日町支店	※1	607
			三菱UFJ銀行鶴舞支店	※1	112,078
			福岡銀行香椎支店	※1	0
			東京スター銀行本店営業部	※1	100,976
			埼玉りそな銀行さいたま新都心支店	※1	55,890
			第四北越銀行白山支店	※1	149,450
			三井住友銀行麹町支店	※1	126,884,123
			みずほ銀行銀座支店	※1	11,771,214
		郵便貯金			180,553,536
		未収金			0
		流動資産合計			322,582,852
	2 固定資産	(1) 基本財産			
		普通預金	みずほ銀行新宿新都心支店	※2	300,000,000
		土 地	東京都世田谷区大蔵	※3	222,680,900
		基本財産合計			522,680,900
		(2) 特定資産			
		ハウス建設積立資金	定期預金	※3	0
		ハウス建設積立資金	普通預金	※3	0
		ハウス修繕等費用準備資金	普通預金	※3	107,633,120
		ハウス運営・建設積立資金	普通預金	※3	797,665,141
		特定資産合計			905,298,261
		(3) その他の固定資産			
		建 物	宿泊施設	※3	1,856,008,475
		構 築 物	ハウス看板等	※3	10,603,174
		什器備品	家財及び事務機器等	※3	16,032,047
		ソフトウェア	会計ソフト及びホームページ	※4	5,666,446
		電話加入権	施設設置電話	※4	76,440
		建設仮勘定	おさかすいたハウス	※3	0
		その他の固定資産合計			1,888,386,582
		固定資産合計			3,316,365,743
		資産合計			3,638,948,595
Ⅱ 負債の部	1 流動負債	未払金		※5	2,506,038
		仮受金		※5	0
		預り金	源泉所得税等	※5	385,621
		流動負債合計			2,891,659
		負債合計			2,891,659
		正味財産			3,636,056,936

※1...運転資金として。 ※2...公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に供している。 ※3...公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。
※4...管理目的の業務に使用する財産。 ※5...流動資産に対応する負債。

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
その他の有価証券…決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却について
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア…定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	222,680,900	0	0	222,680,900
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	522,680,900	0	0	522,680,900
特定資産				
ハウス建設積立資金	230,968,780	0	230,968,780	0
ハウス修繕等費用準備資金	101,684,000	23,000,000	17,050,880	107,633,120
ハウス運営・建設積立資金	434,812,356	362,852,785	0	797,665,141
小 計	767,465,136	385,852,785	248,019,660	905,298,261
合 計	1,290,146,036	385,852,785	248,019,660	1,427,979,161

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	222,680,900	(222,680,900)	0	0
定期預金	300,000,000	(300,000,000)	0	0
小 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0
特定資産				
ハウス建設積立資金	0	0	0	0
ハウス修繕等費用準備資金	107,633,120	0	(107,633,120)	0
ハウス運営・建設積立資金	797,665,141	(797,665,141)	0	0
小 計	905,298,261	(797,665,141)	(107,633,120)	0
合 計	1,427,979,161	(1,320,346,041)	(107,633,120)	0

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,606,556,350	750,547,875	1,856,008,475
構築物	41,469,068	30,865,894	10,603,174
什器備品	134,991,690	118,959,643	16,032,047
ソフトウェア	31,634,028	25,967,582	5,666,446
合 計	2,814,651,136	926,340,994	1,888,310,142

5.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金(自治医大)	0	775,500	775,500	0
合 計	0	775,500	775,500	0



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で14万人に及ぶと言われおり、その難病の子どもを持つご家族まで含めると、その何倍もの方々が大変な思いをされているとされています。これらのご家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることになります。

このようなご家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くにご家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動を行っています。ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には380以上のハウスがあります。本公益財団法人は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としています。

財団の概要

名 称	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
所 在 地	東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階
目 的	本財団は、困難な病気を患っている児童及びその家族を支援するため、必要とされている医療施設の近くに安価で滞在できる施設を設置、運営することによって小児医療や家庭の福祉に貢献し、また、医療分野や福祉活動等におけるボランティア活動を推進するための啓発活動を行うことにより、わが国の医療・福祉への支援体制の確立に寄与することを目的とする。
事 業	①困難な病気を患っている児童及びその家族が滞在できる施設の設置・運営 ②福祉、医療分野等を必要とする地域への支援事業 ③その他前条の目的を達成するために必要と認める事業
設 立	1999年4月1日
行 政 庁	内閣府

私たち公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンはグローバルチャリティです。アメリカ・シカゴにあるRonald McDonald House Charities Global (RMHC Global) が本部として統括し、各国に財団が設立されています。

RMHC Global およびDMHCのミッション



Create, find and support programs that directly improve the health and wellbeing of children.

『子どもたちの、健康で健全な成長のために、直接的な影響をもたらすプログラムを創造し、発見し、支援します。』

これを受け、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは、『入院している子どもたちとその家族が、よりよい生活を送れるように支援する』ことをミッションに掲げ、



公益財団法人
ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパン

- ① ハウスの建設・運営による
患児と家族の支援
- ② ボランティア文化の醸成
- ③ 医療を社会で支える仕組みづくり

に寄与いたします。



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの新たな取り組み

シェアハートフォーシックキッズ

SHARE HEART for SICK KIDS



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは、ドナルド・マクドナルド・ハウスの運営だけではなく、入院している子どものQOLを向上させ病気の子どもたちに笑顔を届けることを目的に、さまざまなプロジェクトを展開してまいります。

フィラデルフィアストーリー
Philadelphia Story

1974年、フィラデルフィア・イーグルスでアメリカンフットボール選手として活躍していたフレッド・ヒルの3歳の愛娘が白血病にかかり、入院することになりました。娘の入院中、付き添う家族の困難な姿を目の当たりにし、彼もまた、入院先が自宅から離れていることに精神的にも経済的にも苦痛を感じていました。病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設があれば・・・これはフィラデルフィアの小児病院に勤める医師の強い願いでもありました。そこで彼は、病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設ができないかと考え、病院のそばにあるマクドナルドのフランチャイズオーナーや小児病院の医師、フットボールチームの協力を得て募金活動を進めました。

こうして1974年10月、世界初の『ドナルド・マクドナルド・ハウス』が誕生しました。

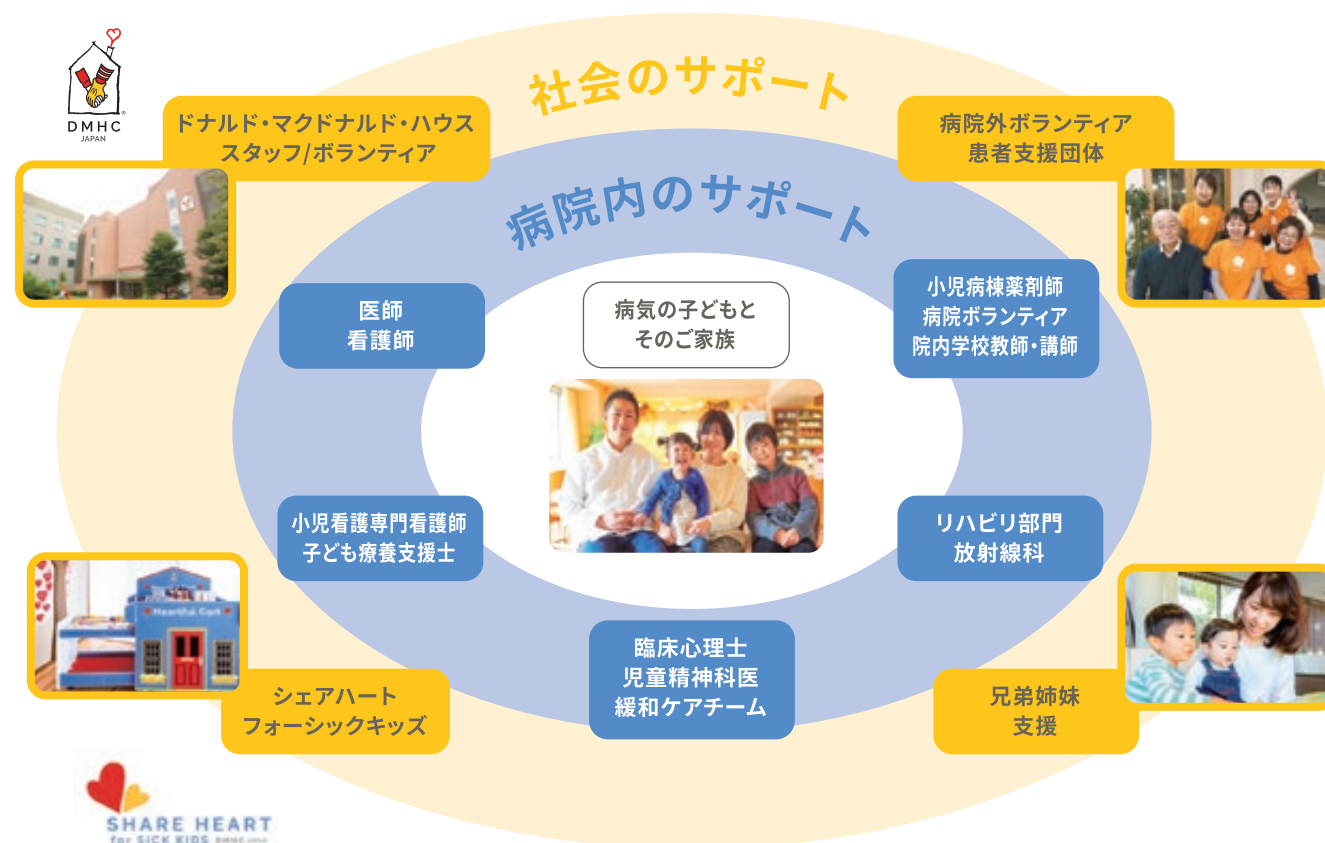
「わが家のようにくつろげる第二の家」
Home away from Home

病気の子どもとご家族のための、
ドナルド・マクドナルド・ハウスは、
今では日本を含め世界中に広がっています。

ファミリー・センタード・ケアを支えるDMHC

子どもを取りまく医療において、患者とその家族の支えとなり多様なニーズを満たしていくために重要視されているのが、ファミリー・センタード・ケア。これは、家族も子どものケアに関わるチームの重要な一員であり、子どものケアや治療方針などの意思決定に参加することを大切にする「家族を中心としたケア」という考え方です。このファミリー・センタード・ケアを実行・推進するためには、社会全体で家族・医療を支える必要があり、その支援の輪においてドナルド・マクドナルド・ハウスは非常に大きな役割を担っています。

私たちは、子どもたちに直接医療を提供することがミッションではありませんが、子どもを看病するご家族に滞在場所ときめ細やかなサポートを提供することを通じて、ファミリー・センタード・ケアをはじめとする効果的な医療の実現に貢献し、病気の子どもとご家族により多くの笑顔をお届けします。



～病気と闘う子どもたちとご家族を中心に～

世界中で私たちが目指す概念

- 1 患児・家族に対する「尊厳」と「敬意」をもつこと
- 2 家族と十分なコミュニケーションを図り、情報を共有すること
- 3 家族が望むレベルで、ケアや意思決定への参加を促し、これを支持し、支援すること
- 4 家族と医療従事者と私たちが協働すること

役職	氏名	所属
理事長	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
専務理事	御立 尚資	京都大学経営管理大学院 特別教授
常務理事	河野辺 孝則	常勤
理事	岩中 督	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 理事長
	加藤 恵津子	国際基督教大学 教授
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長（元環境省事務次官）
	田中 美代子	日本コカ・コーラ株式会社 広報・パブリックアフェアーズ&サステナビリティ本部 副社長
	長瀬 淑子	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 初代事務局長
	日色 保	日本マクドナルド株式会社 代表取締役社長兼CEO
	飯野 直子	日本マクドナルド株式会社 CSR部 部長
	宮原 道夫	森永乳業株式会社 代表取締役会長
	安田 智彦	フジパングループ本社株式会社 代表取締役会長兼社長
	横田 和彦	スターゼン株式会社 代表取締役社長
監事	玉置 良光	公認会計士
	二村 隆章	公認会計士
評議員	磯部 光章	公益財団法人榊原記念財団 附属榊原記念病院 院長
	江幡 哲也	株式会社オールアバウト 代表取締役社長兼CEO
	大熊 由紀子	国際医療福祉大学 大学院教授
	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース 代表取締役社長・プロデューサー
	西村 由美子	オーガストネットワークインク 代表
	南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役 調査研究本部長
	宮下 建治	日本マクドナルド株式会社 取締役・執行役員
	宮田 佳代子	フリーキャスター
	好本 一郎	株式会社ゴールドウィン 取締役



ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10
TEL:03-5494-5534 FAX:03-3749-2267



施設概要

2001年12月に誕生した「せたがやハウス」は国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。小児ベッド数が490床ある国立成育医療研究センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。

ハウス情報

オープン：2001年12月
延床面積：1,744.29㎡ ベッドルーム数：**23**室

2022年実績

利用家族数 **629** 家族
総宿泊数 **5,350** 泊
平均滞在日数 **8.6** 日
ボランティア登録者数 **131** 名
ボランティア活動時間数 **9,916** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ

〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3 自治医大2号館3階
TEL:0285-58-7551 FAX:0285-44-4154



施設概要

2006年9月に誕生した「とちぎハウス」は自治医科大学とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたハウスです。2013年には増室工事を行い、7室だったハウスが10室に、さらに2021年にはリフレッシュ工事を行い、内装を整備しました。

ハウス情報

オープン：2006年9月
延床面積：652.90㎡ ベッドルーム数：**10**室

2022年実績

利用家族数 **151** 家族
総宿泊数 **561** 泊
平均滞在日数 **3.9** 日
ボランティア登録者数 **150** 名
ボランティア活動時間数 **8,199** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
TEL:022-391-1233 FAX:022-392-5535



施設概要

2003年11月に誕生した「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は241床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

オープン：2003年11月
延床面積：1,679.36㎡ ベッドルーム数：**16**室

2022年実績

利用家族数 **526** 家族
総宿泊数 **2,266** 泊
平均滞在日数 **4.7** 日
ボランティア登録者数 **107** 名
ボランティア活動時間数 **9,528** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ

〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
TEL:011-688-4533 FAX:011-691-8866



施設概要

2008年12月に誕生した「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター（通称：コドモックル）の向かい側に開設されました。コドモックルは215床あり道内からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

オープン：2008年12月
延床面積：994.22㎡ ベッドルーム数：**10**室

2022年実績

利用家族数 **335** 家族
総宿泊数 **1,432** 泊
平均滞在日数 **4.4** 日
ボランティア登録者数 **155** 名
ボランティア活動時間数 **12,186** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか健都

〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町5-30
TEL:06-6339-5855 FAX:06-6339-5856



施設概要

2005年10月に誕生した「おおさか・すいたハウス」は国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターの移転に伴い、2019年6月より「おおさか健都ハウス」として、ベッドルーム数を18室から20室に増室し、大阪府摂津市にてご家族を支援しています。

ハウス情報

オープン：2019年6月
延床面積：1,292.88㎡ ベッドルーム数：**20**室

2022年実績

利用家族数 **367** 家族
総宿泊数 **3,413** 泊
平均滞在日数 **8.9** 日
ボランティア登録者数 **177** 名
ボランティア活動時間数 **13,493** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2 東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
TEL:042-300-4181 FAX:042-325-2266



施設概要

2010年3月、東京都府中市に「ふちゅうハウス」がオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、地方独立行政法人東京都立病院機構の宿泊棟1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。

ハウス情報

オープン：2010年3月
延床面積：688.33㎡ ベッドルーム数：**12**室

2022年実績

利用家族数 **324** 家族
総宿泊数 **2,492** 泊
平均滞在日数 **7.9** 日
ボランティア登録者数 **113** 名
ボランティア活動時間数 **9,044** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
TEL:03-3812-9877 FAX:03-3812-9688



施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に「東大ハウス」がオープンしました。東京大学医学部附属病院の隣接地に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

オープン：2011年12月
延床面積：979.72㎡ ベッドルーム数：**12**室

2022年実績

利用家族数 **291** 家族
総宿泊数 **1,750** 泊
平均滞在日数 **5.2** 日
ボランティア登録者数 **197** 名
ボランティア活動時間数 **12,362** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや

〒466-0065 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 名大病院構内
TEL:052-744-0203 FAX:052-741-7707



施設概要

2013年11月に「なごやハウス」は中部地方で初めてのハウスとして誕生しました。名古屋大学医学部附属病院構内に建てられたハウスは、3階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

オープン：2013年11月
延床面積：1,192.22㎡ ベッドルーム数：**12**室

2022年実績

利用家族数 **379** 家族
総宿泊数 **2,255** 泊
平均滞在日数 **5.9** 日
ボランティア登録者数 **141** 名
ボランティア活動時間数 **10,092** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5-1-2
TEL:092-692-2031 FAX:092-692-9087



施設概要

2015年5月に「ふくおかハウス」は九州地方で初めてのハウスとして誕生しました。福岡市立こども病院の敷地内に建てられたハウスは、16室でオープンしましたが、より多くのご家族が利用できるように2019年秋に増室工事を行い21室となりました。

ハウス情報

オープン：2015年5月
延床面積：1,827.01㎡ ベッドルーム数：**21**室

2022年実績

利用家族数 **500** 家族
総宿泊数 **2,863** 泊
平均滞在日数 **5.7** 日
ボランティア登録者数 **110** 名
ボランティア活動時間数 **9,994** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL:078-302-7222 FAX:078-302-7223



施設概要

2016年5月に誕生した「神戸ハウス」は、兵庫県立こども病院の移転に伴い、兵庫県によって整備されました。メディカルエリアに開設されたハウスは、病院に隣接した3階建てで16家族が滞在可能です。

ハウス情報

オープン：2016年5月
延床面積：1,249.5㎡ ベッドルーム数：**16**室

2022年実績

利用家族数 **419** 家族
総宿泊数 **2,867** 泊
平均滞在日数 **6.9** 日
ボランティア登録者数 **106** 名
ボランティア活動時間数 **8,445** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス さいたま

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2 埼玉県立小児医療センター6階
TEL:048-601-0123 FAX:048-601-0126



施設概要

2016年12月に誕生した「さいたまハウス」は、埼玉県立小児医療センターの移転に伴い整備され、国内では初めて病院内に開設されたハウスです。小児医療センターは316床あり、小児救命救急医療が強化された病院のため、多くの患者が入院または通院しています。

ハウス情報

オープン：2016年12月
延床面積：575㎡ ベッドルーム数：**7**室

2022年実績

利用家族数 **262** 家族
総宿泊数 **2,054** 泊
平均滞在日数 **7.5** 日
ボランティア登録者数 **180** 名
ボランティア活動時間数 **12,328** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた

〒951-8122 新潟県新潟市中央区旭町通一番町756番地9
TEL:025-210-0577 FAX:025-210-1187



施設概要

2022年10月に「にいがたハウス」は日本海側初のハウスとして誕生しました。新潟大学医歯学総合病院に隣接する場所に建てられたハウスは、4階建てで10家族が滞在可能です。

ハウス情報

オープン：2022年10月
延床面積：853.79㎡ ベッドルーム数：**10**室

2022年実績

利用家族数 **46** 家族
総宿泊数 **308** 泊
平均滞在日数 **5.1** 日
ボランティア登録者数 **290** 名
ボランティア活動時間数 **3,702** 時間



病気の子どもと
そのご家族の支援を
これからも、一緒に。

公益財団法人
ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階
TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198 <https://www.dmhcj.or.jp>



財団公式HP